



有限会社
エイチ・エムズコレクション
取締役/臨床コンサルタント
歯科衛生士

濱田 智恵子
さん

今回のアイテム

クリックプローブ・ペリオプローブ

プラスチック製プローブの有効性

インプラント周囲に対して
プロービングを行うのがスタンダードという時代になりました。但し、診査器具としてはプラスチック製プローブの使用が推奨されています。

一般診療の中での活用方法
としては「インプラント周囲歯肉を触った時の歯肉の感触の診査」や「治療の経過観察のためのプロービング」を行うのに適しています。

プラスチック製プローブ

は、金属製に比べて柔軟性があるので、術者目線では「歯肉溝に挿入しやすい為、患者さんに痛みを与えずに分岐部や遠心面等の測定が適切に行える」というメリットがあります。

他には「インプラント体の周辺にも傷つけず使用できる」「痛みや金属診査機器に拒否反応のある患者さんにも優しいイメージを持つてもらいたい」という利点があり、インプラント以外のケースでも活用

出来る事もあります。特にカ

ハーベのプラスチックプローブは、ハンドルの持ちやすさや先端部分のカラーの見やすさ、操作性の良さなど使い心地も良く、私のお気に入り一品です。特殊なプラスチック製の為、滅菌や消毒が可能です。患者数が多く、良好で適切なメンテナンスを心がけている歯科医院にとって、繰り返し使用出来るという点は大きな魅力です。



診査中の様子



クリックプローブのブルー
(目盛:3-5-7-10mm)。
クリック機構付き。
20~25gの負荷でクリック
部がカチッと折れる。

クリックプローブのグリーン
(目盛:3-6-9-12mm)。
クリック機構付き。
ブルーとは目盛りの振り方
が異なる。



ペリオプローブ(目盛:
3-5-7-10mm)。
クリック機構無し。